

新様式(令和8年2月16日以降から発行させる様式)になり、記載欄が狭くなりました。スペースが足りない場合は、任意書類の「裏面添付」で対応をお願いします。

【精神疾患入院要否意見書の記載についてのお願い】

1. 裏面の意見書記入要領2に記載されておりますとおり、継続入院の場合であっても、新たに判明した事実がある場合には記載をお願いします。
2. 適切な医療扶助実施上、長期入院患者の実態を常時把握することが必要です。そのため、継続発行しております「精神疾患入院要否意見書」につきまして、以下の記載例の内容を留意して記載してください。

記載例		精神疾患	
[患者氏名] 様		令和 4年 8月 12日	
[住所]		位置情報確認事務局長	
[氏名]		[印]	
[住所] (0000) に係る令和 4年 8月 12日現在の医療の 療養について意見を求めます。			
年齢	[年齢]	性別	男
出生年月日	[出生年月日]	年齢	607.000.000生 (000000)
所在地	[所在地]		
病名	[病名]		
入院の経緯	[入院の経緯]		
1. 直前の精神状態	[直前の精神状態]	2. 直前の精神状態	[直前の精神状態]
病名	[病名]	病名	なし

例文

- ・身体合併症はなく他科受診はしていない。
- ・外泊はないが、単独で週1回程、最寄りのコンビニエンスストアに外出している。
- ・作業療法には基本的に毎日参加し、ロールモザイク等の創作活動や音楽療法へ参加している。
- ・家族は唯一弟と妹がいるが、●●県在住で、H●年入院後は絶縁状態である。

※上記例文のように箇条書きではなくても構いません。

病名がなければ「空白」ではなく、「なし」と記載してください。

過去6か月間の「経過」を記載してください。
記載内容としましては「入院中の他科受診」「転院の経過」「入院中の外泊や外出の状況」「作業療法等の経過」「家族や退院支援の状況」等に新たな判明した事実があれば記載をお願いします。
大きな変化がなくても、入院中の何かしらの経過を記載をしてください。